

令和6年12月19日

奥出雲町長 糸原 保 様

仁多地域学校再編統合推進委員会
総務部会部長 和久利 司

仁多地域統合小学校の校章デザイン候補について（意見書）

標記の件について、仁多地域学校再編統合推進委員会総務部会としての考えを下記のとおりまとめました。

校章デザインについては、通常であれば学校が主体となり、児童や保護者と協議して決定するものと承知していますが、今回は新しい統合小学校として開校されることから、開校までに町で総合的に判断されるものと認識しています。

つきましては、本意見を判断の材料としていただきますようお願いいたします。

記

1 総務部会としての取り組み

- ・ 奥出雲町に在住の方、奥出雲町に通学・通勤されている方、奥出雲町出身の方を対象に、仁多地域統合小学校の校章デザイン募集を令和6年7月1日から8月31日まで実施しました。
- ・ 上記期間中に43名の方から応募いただき、集計の結果43候補となりました。
- ・ 校章デザイン候補選考については総務部会で協議し、1次選考、2次選考の2段階で選考することで決定しました。
- ・ 1次選考では、総務部会常時参加委員12名により、1人10候補以内で選考し、とりまとめた結果22候補となりました。（2名は棄権）
- ・ 2次選考では、1次選考結果22候補に対し、総務部会委員28名により、1人3候補以内で選考しました。（1名は棄権）

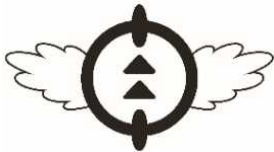
2 選考した校章デザイン候補

投票結果を踏まえ、以下10候補を総務部会としての校章デザイン候補とします。

デザイン全般にかかる意見等（部会委員意見集約）

- ・仁多という文字がしっかり入っていると良い。
- ・盛りだくさんすぎるので、極力省いて、分かりやすくした方が良い。シンプルなほうが良い。
- ・新しい学校が出来るという事で、新しい時代に向かう、未来に向かっていくという希望が持てるようなイメージがわくものだと良い。

No.	応募者デザイン	島根デザイン 専門学校校正案	校章デザインの説明 (理由・意味等)	得票数	選考理由等 (部会委員意見要約)
1			奥出雲の深い山々に囲まれ名産の仁多米の稲と穂のモチーフを入れ町の花のシャクナゲをデフォルトしてデザイン致しました。花は桜と迷いましたが雲南が桜の為、奥出雲のシャクナゲを。稲穂は上を向いていた方が理想だと思いましたが、『実るほど頭を垂れる稲穂かな』ということわざを知り『知識や徳を積んだ人ほど謙虚な人間になること』とございましたのと個人的にデメリットをお持ちの子でも楽しい学校生活をとデザインしました。	18	・奥出雲町の名産品、自然がデザインに凝縮され、校章からこういった町かイメージできる。 ・シャクナゲを除いた方がよい。 ・仁多小だと分かりやすく、デザインに込めた意味も良い。 ・形やしゃくなげの部分が、もう少しシンプルなデザインだと更に良い。 ・仁多小=仁多米と結びつき愛着を感じた。 ・仁多米（稲穂）とシャクナゲのモチーフがよくまとまっている。
2			6つの花びらは、6校から集まったハート（ハート=心）	3	・シンプルで、デザインに込めた意味も良い。 ・このデザインでは小学校かどうか分からないが問題ないか。問題なければこのままで良い。 ・仁多地区の小学校が集合したような形の校章が良いと思い選びました。
3			奥出雲町は、たたら製鉄が栄えた町というイメージがありましたので全体をたたらに関するものにしました。上部真ん中には炎を配置し、たたら製鉄を連想させるものにし、今回6つの小学校が統合するということもあり6本の木を配置し成長の象徴を表現しました。たたら製鉄でも重要だった木を燃やし成長、変化をして欲しいと願いを込めました。また、鉛筆のシルエットで学習のイメージさせるものにしております。下部には自然あふれる山と川もたたら製鉄には欠かせないものでしたので配置しました。フレームは稲穂のシルエットにすることにより、「食」をイメージさせ、食育も重要な学習と考え配置しました。在校児童、卒業生が世界で活躍して欲しいと願いを込めて、中央にはNITAのNとTを配置し、校章の形もエンブレム風にすることによりグローバル感を出しました。全体的にシンプルで分かりやすく、小学生でも書き写すことのできるデザインにすることを心掛けました。	21	・既存の形にとらわれず斬新で、デザインに込めた意味も良い。 ・鉛筆のシルエットを外すなど、もう少しシンプルでも良い。 ・近未来っぽく感じたから。 ・いろいろな要素を盛り込みすぎてごちゃごちゃしているので、炎と稲穂だけにするなどしてもっとシンプルにしたほうが良い。
4			デザインコンセプト：奥出雲町の自然豊かな環境と伝統文化を象徴し、地域の誇りを育むデザイン。デザイン要素：1. **山と川**：奥出雲町の自然を象徴するために、山と川のシルエットを配置します。山は力強さと成長を、川は知識と流動性を象徴します。2. **六角形の枠**：六角は6地域のバランスを意味し、教育の場としての安定性を表します。この形状は校章全体の外枠として使用します。3. **松の木のモチーフ**：松は長寿や不屈の精神を象徴し、学び続ける意欲と学校の歴史の重みを表します。シンプルな松の葉をデザインに取り入れます。4. **カラーとシンプルさ**：白黒での使用にも耐えうるシンプルな線画で表現します。デザイン説明：この校章デザインは、奥出雲町の豊かな自然と文化をシンボリックに表現し、地域との結びつきと学校の教育理念を具現化しています。シンプルながらも意味深いデザインにすることで、白黒でもイメージが崩れず、長く使用できるものにしました。注意点：・校章デザインにはグラデーションを使用しないよう、すべての要素をシンプルな線と塗りで表現しています。・この校章デザインの一部は生成AI(DALL・E3)を使用して作成し、その画像を修正しております。一部類似画像を検索し、調査しましたが、著作権、商標に該当するものはありませんでした。	2	・既存の形にとらわれず斬新で、デザインに込めた意味も良い。
5			布勢小学校、三成小学校、高尾小学校、亀嵩小学校、阿井小学校、三沢小学校の六校が統合してできる仁多小学校という事で、今回この六校を合体させた校章デザインにしようと思いました。六校それぞれの校章の一部分を入れてこの六校が統合したようにして外枠に米の模様をつけました。なぜ、米の模様を入れたのかというと、仁多郡では仁多米が有名で仁多というのに一番ゆかりがあると思ったのと、米の象徴が繁栄なのでこの小学校がこの校章とともに繁栄してほしいという思いを込めて米の模様を外枠に取り入れました。	6	・6校のマークを残すという趣旨は面白いと思う。ただ盛り込みすぎてごちゃごちゃとしている。

No.	応募者デザイン	島根デザイン 専門学校校正案	校章デザインの説明 (理由・意味等)	得票数	選考理由等 (部会委員意見要約)
6			仁多といえば仁多米が有名なので、稲穂をモチーフにしました。	9	・奥出雲町の名産品である仁多米がモチーフとされており、生徒、地域の方々にも愛着がもてる。 ・比較的シンプルで分かりやすい。
7			このマークを作るにあたって、仁多といえば仁多米が有名なので一目で仁多とわかるように稲穂をモチーフにしました。シンプルかつ、わかりやすさを重要視してつくりました。	3	・仁多米が大胆にデザインされており、他校にはないインパクトがある。
8			真ん中のマークは仁多町だったときの町章を入れました。 仁多小学校が上へと羽ばたいて行くように羽を付けました。	1	・比較的シンプルで分かりやすく、デザインに込めた意味も良い。 ・翼の付いた斬新な形に惹かれた。新しい学校になり未来にはばたくイメージができるので良いと思う。仁多町の町章を使うと、「奥出雲町」としていま町全体で取り組んでいることに逆行するように思うので、真ん中部分は旧仁多町町章をやめ「仁」の文字などを入れると良い。
9			仁多米が有名なので。 6校の統合なので六粒にしました。	1	・奥出雲町の名産品と統合された6校がデザインに表現されており仁多地区の統合校としてのスタートに適している。
10			6校の子供達が仁多小学校を学舎として1つとなり、自然豊かなふるさとで天高くのびのびと成長できますように！	6	・デザインに込めた意味が良い。 ・星や稲穂の部分が細かく見えるため、もう少しシンプルでも良い。 ・6つの星で6校統合のイメージを表したところが良い。